

学んで話して楽しい にほんご教室

# 夢気球だより

「夢気球だより」編集部 発行  
〒610-0121

城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階 城陽市国際交流協会内  
電話 0774-57-0713

ご意見・投稿先 niciyama0323@gaia.eonet.ne.jp <西山雅文>



## 国際サロン

### 異文化理解って何？

#### ドイツの試行錯誤から日本のことを考えてみよう！

12月6日(土)に、ぱれっとJOYO委託事業「国際サロン」が22名の参加者で開催されました。  
(夢気球が企画実施)

今回は「異文化理解って何？」ドイツの試行錯誤から日本のことを考えてみよう！をテーマに同志社大学のベティナ・ギルデンハルトさんの講演。この整理された話を受けて、4つのテーブルでワークショップをしました。意見交換を深めました。今回、同志社大学グローバル・コミュニケーション学部4名の学生に進行役として協力していただきました。

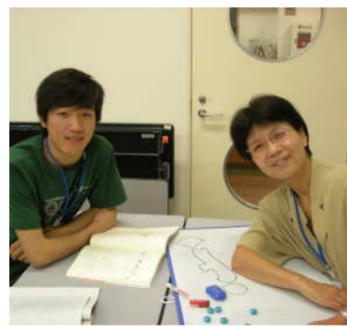
「目に見えるもの、見えないもの」をきり口に意見交流に入った班は、圧倒的に見えな



白熱のワークショップ

「目に見えるもの、見えないもの」をきり口に意見交流に入った班は、圧倒的に見えな

## 教室紹介



今回は、ぱれっとJOYOで学習している岸本秀子さんと張凱さんの教室の紹介です。

Q 日本語支援を始めようと思った動機は何ですか。

A 日本語講師養成講座を習得して、何か地域に貢献できればと思っていたところ、「夢気球」の立ち上げを聞いて、日本語を通して地域在住の外国人との交流を深めて支援をしようと思いました。

Q 支援は、楽しいですか。

A 張凱さんは、はじめはほとんど日本語が話せなく、また、私も中国語が解らず、戸惑いもありました。しかし、今では上達して、

## 「マーク・アダムソンさん」

### 学習支援の終了に寄せて

はじめましてマークと言います。イギリスの出身です。私は3年半ぐらい城陽市国際交流協会日本語を勉強していました。

城陽の先生のおかげで日本語が話せるようになりました。日本語の勉強は簡単ではありません。でも、毎日少しずつだけ話せるようになってきました。



自分の気持ちを表さなければなりません。いつも自分の母語を頼っていたら

## 「マークさんの支援を終えて」

この10月に、3年半にわたるマークさんへの支援を終えました。

彼は勉強熱心で、話す・聞く・読む・書くという四技能をまんべんなく学習しようという意欲にあふれ、実際に身につけてくれたと思います。

「学習者からの記事は原文のまま掲載しています。」理解が深まったように思

## 教室通信

ぱれっとJOYO(日曜クラス)では新しく7名の学習者と5名の支援者を迎えます。これから新しい教室を随時お知らせしていきます。(編集部)



## 役員募集

現役員の任期満了に伴い新役員を募集します。応募に関する連絡は、杉島凱夫(代表)、片岡敬愛(庶務チーフ)のいずれかにお願います。

■募集人数 9名  
■募集期間 2015年3月20日(金)まで  
■役員の正式決定 第4回総会(2015年4月19日(日)の予定)における承認による

■任期 第4回総会開催日以降2016年3月31日まで(運営委員会)